



「出会いを大切にしていきたい」
— ありんこをとおして学んだこと —

をしたり余暇活動をしたりするサークルです。私が在籍していたころに、20周年でしたので、今は、30年くらいの歴史を重ねていることと思います。私は、ありんこの活動をとおして、人との出会いはとても素晴らしいものであり、そして、一緒に過ごす時間はとても大切なものだということを学びました。

私は教師として、多くの子どもたちとの出会いの日々を送っています。そして、子どもたちと過ごす時間、一緒に作り上げていく時間が素晴らしいものになるように、自分にできることを一生懸命取り組みたいと思っています。

このように、サークル活動をとおして学んだことは、今、教師として、一人の人間としての私の生き方において、大きな宝物となっています。

「久しぶりです。仙台ではお世話になりました」とレジを打っていた彼女に話しかけられました。彼女が中学生だった頃、彼女と一緒に病院の食堂で勉強をしました。「この子は、今も私と一緒にいます」と胸元につけた写真のバッチをお母さんに見せてもらいました。チャリティコンサートでの出来事です。私は、ありんこの活動をとおして、2歳の彼と出会いました。

「入院児の教育を考える会 ありんこ」は、入院中の子どもたちと週に1～2回、2時間程、一緒に勉強



所属サークル



入院児の教育を考える会
ありんこ

岩手県立一関清明支援学校教諭

稗貫 真理子

Mariko Hienuki

平成8年度

養護学校教員養成課程 卒業

平成10年度

大学院教育学研究科修士課程

障害児教育専攻 障害児教育専修 修了